

# 県大 jiman

滋賀県立大学広報誌  
第2号 002  
January. 2008

第2号特別企画  
県大 jiman  
卒業メッセージ

壮計のみなさん。卒論は大変やけど「自分で考える」楽しさとおもしろさを味わってください!(環境科学部4回生・近藤研究室 ミゾ)

卒業おめでとう。英語で困ったことがあれば、いつでもメールをください。彦根より活躍を祈っております。(国際教育センター 兼教授 小栗樹子)

湖風祭ではお世話になりました。その行動力を社会に出てもいかしてください。卒業おめでとうございます!(人間文化学部3回生・湖風祭実行委員会 翠 勇樹)

県大の生態系(アヒル、カモの運命)は君達に託した!いつまでも美しい景色でありますように。(人間文化学部4回生 井手綾子)

4年間お疲れ様でした。先輩方に教えていただいたことは忘れません!バッチョンを持って社会に出てください!(環境科学部2回生 であち)

デザの皆さま。一緒に勉強できてすごく楽しかったよ。共にいるんなら限界に挑戦してきた大切な仲間です。(人間文化学部4回生 田辺祐子)

「ウインドサーフィン部の後輩、まずは楽しめ!そして目指せ日本一!」(工学部4回生・ウインドサーフィン部 大田秀紀)

卒業おめでとう!自分の可能性を信じ、自分の手で未知なる扉を開けよう!!(工学部附属実習工場 大塚 英夫)

これから先、苦悶も涙も少なからずあるでしょうが、県大生なら乗り越えられるはず!頑張ってください!(工学部附属資料室 吉田 恭子)

先輩達は失うには惜しいおもしろいキャラクターばかりでした。その個性で世の中をもっとおもしろくしてください!(環境科学部3回生 しゅんずけ)

先輩方と一緒に活動して僕は本当に成長することが出来ました。成長しすぎてもう成長痛です。イテテッ(´;`)(工学部3回生 LEAFS りく)

ご卒業おめでとう!卒論・修論本当におつかれさまでした。みなさんの社会での活躍を期待しています!(工学部教授 奥 健夫)

看護の先生方へ。男の看護職として活躍していきます!!ご指導ありがとうございました!!看護男3人より!(人間看護学部4回生 西村朋哉)

演研の4回生へ。先輩と話すことが大好きでした。親しくしてくださって嬉しかったです。ありがとうございました。また遊びに来てください!(人間文化学部3回生 廣野 幸希)

水泳部のみんな、これまでホントにありがとう!みんなと出会えてよかった☆これからもずっと笑顔でいてね!(工学部附属博士前期課程2回生 水泳部 高橋 高志)

新型サークル「フレックスタイム」の発起人へ。夢を叶えるためではなく、笑っから幸せなんだね。本当に楽しい毎日をありがとう。心からよるね。(工学部資料博士前期課程2回生 越前 一也)

卒業おめでとう。自分らしい未来を切り拓いて頑張ってください。県大はこれからも皆さんを応援しています。(事務局教務グループ 吉田 猛)もう会えなくなるのが寂しいです。社会人になっても頑張ってください!(人間文化学部3回生 霧れるトド)

先輩の活躍を見ていてすごいなあと思っただけです。舞台上にたくさんアイデアを盛り込んで実現してしまっただけで、右も左もわからない私達に刺激も頂いて下さった先輩。いつまでもっしょい!!(環境科学部1回生 劇団深夜特急 こぐま)

ご卒業おめでとうございます。春からこの大学には居られないのは寂し過ぎますが、先輩方と一緒に頑張ってきたことや教わったこと、学んだことを胸に胸向、後輩共々、頑張ってください!今日の旅立ちに幸あれ!!(人間文化学部2回生 劇団深夜特急 吉崎 瞳)

お忙しい中で度々私達の稽古をつけて下さったこと、本当に感謝しております。上下関係の厳しい部活において色々失礼を申しましたと思いますが、順やかに話しかけて下さったことや私達の話を真剣に聞いて下さったことは本当に嬉しく思っております。有り難うございました。(人間文化学部1回生 高村紀之)

初心者と入部した自分に分かりやすく指導してくれた4回生の先輩方には本当に感謝しています。先輩たちが優しくに接してくれた事で毎回楽しく部活が出来たのだと思います。1年間本当にありがとうございました。(人間文化学部1回生 北田昂大)

大好きな先輩方が卒業されるのは、かなり残念です!!まだまだ遊びに行きたいし、何よりHPの管理が!まだ卒業しないで下さい!(環境科学部2回生 おむ) 大学生の自由な雰囲気を感じて楽しんでいく先輩方一躍頑張って下さい!(環境科学部3回生 橋本 慶之)

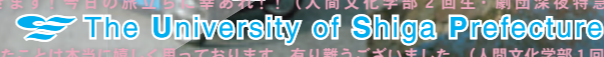
フレックスタイムの先輩方へ。さんま・・・トマト・・・運動会・・・いつもおもしろい企画で楽しませてもらいました。また彦根に遊びに来て下さいね!(人間文化学部3回生 松村文香)

卒業おめでとうございます。先輩達からライブの楽しさを教えてもらいました。楽しい思い出ばかりが浮かびます♪本当にありがとうございました。(環境科学部2回生 たろう)

卒業おめでとうございます。県大生活で多くの仲間と知識、情報、人脈 e t c... あらゆる要素をフルに活かして、それぞれの卒業後の道を進んでってください。(事務局教務グループ 県大OB 高屋大樹)

B×Bのみんなへ。卒業おめでとう☆みんなと一緒にライブできて楽しかったよ☆ステキな100人のメンバーに出会えて良かった♪ありがとう(´)(人間文化学部3回生 福島志帆)

みなさんの卒業メッセージありがとうございました



2月	1	金	後期授業終了
	4	月	後期定期試験開始(～18日)
上旬			人間文化学部生活文化学科生活デザイン専攻卒業制作発表
13	水		第7回琵琶湖塾 講師:日高敏隆氏 (京都大学名誉教授、前総合地球環境学研究所所長)
14	木		大学院人間文化学研究科生活文化学専攻(博士前期課程)、 人間文化学研究科(博士後期課程・2月募集)一般選抜試験
15	金		大学院人間文化学研究科地域文化学専攻 (博士前期課程・2月募集)一般選抜試験
中旬			環境科学部環境計画学環境・建築デザイン専攻卒業展示
25	月		一般選抜試験(前期日程)
27～28	水・木		大学院環境科学研究科環境計画学専攻 (博士前期課程・2月募集) 一般選抜試験
28	木		大学院環境科学研究科(博士後期課程) 一般選抜試験
-----			
3月	8	土	一般選抜試験(前期日程)合格発表
12	水		第8回琵琶湖塾 講師:堀澤祖門氏(歡山学院院長)
12	水		一般選抜試験(後期日程)
21	金		春期休業開始・一般選抜試験(後期日程)合格発表
22	土		学位記授与式
下旬			リサイクル市
-----			
4月	1	火	補講期間(～7日)
上旬			県大ぐるぐる(新入生歓迎イベント)
上旬			友好祭(新入生歓迎イベント)
8	火		入学式(午前)・新入生オリエンテーション(午後)
9	水		全学オリエンテーション
10	木		春季休業終了
11	金		前期授業開始・前期公開講義開始
中旬			定期健康診断(学部3回生以上、大学院生)
-----			
5月	上旬		第2回運動会 一青春フレンズ杯ニク予定)
中旬			定期健康診断2日間(学部1・2回生、大学院生)
下旬	土		春期公開講座(毎土曜日 5週間予定)
-----			
6月	6	金	開学記念日(全学休講)
21	土		「湖風夏祭」(予定)
28	土		体育会京滋戦(予定)
下旬			ゲル(モンゴル式住居)展示開始
-----			
7月	23	水	調整期間(補講)開始(～25日)
29	火		前期授業終了
30	水		前期定期試験開始

県大 everit cooler order

## 特集

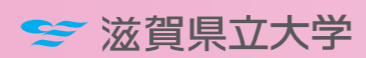
- キャンパスjiman  
マスター・アーキテクトインタビュー 2
- キャンパスマップ 3
- 県大「近江」八景 4
- 県大jimanおすすめツアー 5
- 県大で建築を学んだOBに聞きました 5
- 学生企画 県大便利帳  
大学生生活を効率よく過ごす「コツ」を教えます 6

## 県大Report

- Labo Report  
県大jimanな研究室。今回は人間看護学部 伊丹研究室です。 8
- Class Report  
あの授業はどんな授業?今回は人間文化学部琵琶湖文化論実習です。 8
- After School Report  
クラブ・サークルの紹介。今回は音楽会とLOVELOVELOVEです。 9
- 県大 Book Review  
今回は図書情報センターで使える「就活本」を紹介します。 9
- トピックス&インフォメーション 10
- 県大イベントカレンダー

## 「県大 jiman」について

琵琶湖と滋賀の自然をイメージカラーにし、胸を張って「自慢」する、明るく前向きに応援する気持ちをロゴにデザインしました。



The University of Shiga Prefecture

滋賀県立大学広報誌「県大jiman」は県大が持つキラリと光る「jiman」なところを紹介する広報誌です。

第2号の特集は、「キャンパスjiman」です。デザイン性の高い県大キャンパスにはどんな意味があるのか、おすすめスポットなど「県大jiman」独自の視点で紹介したいと思います。これで県大を訪れる人が増えてくれるといいんだけど…

これからも「県大jiman」をよりよい広報誌に育てていくために、皆さんのご協力をいただきたいと思いますので、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

また、広報誌作成グループでは、「県大jiman」の作成に参加してくれる学生広報スタッフを募集しています。私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」を紹介してみませんか。県大のことが大好きな方、少しでも興味のある方は、気軽にお問い合わせ下さい。

文章力を養いたいです…がんばります!(浅) 新メンバーも加わってパワーUP!(亀) 建築の仕事も面白そうだな(河) 就活雑誌読んでがんばってくださいね!(木) 県大jimanが読めるのは県大jimanだけ!(佐) これからもっと頑張ります☆(田) 広報誌づくりで大変やぁ!(長) ある意味勉強よりも力が入ります(林) 県大jimanおすすめツアー楽しんで下さい!(東) 県大の魅力をたくさんの人知って欲しい!(吉)

発行/滋賀県立大学広報委員会  
編集/広報誌作成グループ  
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
Tel.0749-28-8200 Fax.0749-28-8470  
URL : www.usp.ac.jp/index.html  
E-mail : webmaster@usp.ac.jp

発行日/2008年1月31日





# 特集

「キャンパスは琵琶湖  
テキストは人間」

# キャンパス jiman

水と緑に囲まれた県大キャンパスの魅力を徹底解剖！

彦根市琵琶湖岸の湖周道路から見える塔のような建物それが滋賀県立大学のシンボル、通称「えんびつ塔」です。大学に来た方なら誰もが「これが大学なの？」と感じる県立大学のキャンパスは旧建設省の公共建築百選に大学として唯一選ばれています。今回は県立大学のキャンパスの魅力を様々な視点から紹介します。

## マスター・アーキテクト インタビュー

今回は、滋賀県立大学のキャンパスがどんな意味を込めて建てられたのか、デザインや環境、教育面での効果について、滋賀県立大学のマスター・アーキテクトである環境科学部環境計画学科環境・建築デザイン専攻の松岡拓公教授に聞きました。

### 県大の建築物のデザインコンセプトはどのようなものですか？

この場所の自然環境を活かし、どう生活するかの視点で考えられています。滋賀県の田園風景と集落のイメージをこの大学自身にも重ねあわせ、集落のようにみんなが寄り添った場所を造るというものです。滋賀の集落は水を利用した環濠集落が多いことから、環濠の中の施設を中心に各学部棟が周りに張り付いた構成になっていますが、それぞれが個性ある特徴的な空間を持つとともに、瓦屋根を設けるなど緩やかなルールをつくることで、大学が一つの集落に見えるように造られています。

### 環濠集落とはどのようなものですか？

集落の周りに堀が張り巡らされている集落のことです。ヨーロッパでは一種の結果を作るという意味もありますが、日本の場合には水を利用するところに意味があります。五箇荘町や高月町などに見られるように、自然の水を生活の中に取り入れるといった生活レベルで水との関係を持った集落であると言えるのです。

### 「マスター・アーキテクト」とはどんなことをするのですか？

全体を構成する各ブロックの建築家や計画者のコンセプトを活かしながらも大きな枠組みを決めて、「ゆるやかな統一」を持って全体のデザインや設計をコントロールするのがマスター・アーキテクトの仕事です。自分自身が設計するのはなく、マスター・アーキテクトの直下にあるブロック・アーキテクトが設計してきたものに対し、大学として全体のバランスが壊れないように監修・マネジメントしています。私は二代目のマスター・アーキテクトですが、新たな建築問題や研究について環境整理のしり、交通問題や研究室の増築に関する配置の問題などに携わっています。地味ではありますが常に全体をフェアに見ている大切な役割を担っていると考えています。

### 県大が掲げる「開かれた大学」とは関係がありますか？

本当に開かれた大学とは、キャンパス計画だけではなく、公開講座を開いたり地域とともに活動しているところが、普段の学園生活の中に見える大学のことを言っていると思います。県大の建築物は壁が多いので一見閉ざされていると思われがちですが、学内にはオープンスペースがたくさんあり、地域の一部として地域の人にも気楽に入って来られる造りになっています。県大はあらゆる意味で外に開かれた大学として意識され、存在しているのではないのでしょうか。

### このようなキャンパスにしたことで、学生にどのような効果がありましたか？

学生はとてものびのびしていますね。多彩な学科や講座があるように、いろいろなつながりを感じることもできる大学で、広さと伸びやかさがあります。チャレンジが自由に出来る大学なので、学生はこの環境でクリエイティブになっていると思います。これだけ自然と触れ合える環境で暮らすことができる、情緒豊かな環境ですから、物事を整えていける能力が養われるのではないかと期待しています。大学生活4〜6年の学びの生活で、自然や人やもの、社会の関係が、はっきり理解できる鋭い洞察力をもった人間になってほしいですね。

### 地域の中における県大のポジション・姿はどのように考えていますか？

滋賀県が「環境こだわり県」と言われることもあり、県大では環境関連の研究をしていることが特に知られています。また、近江楽座や近江環人などに代表される地域に根差した活動もさかんであり、各学部が地域とつながっている大学と認識され始めています。気軽に門をたたける大学として、地域とつながっていくことが県大の役割だと思います。

### 松岡先生のデザインに関する教育で心がけていることや伝えたいことは何ですか？

環境問題は人や物の関係性が切断されていることに起因しています。建築の設計をする時でも、形ではなく様々な条件が先にあり、条件を積み重ねていって最終的に形が出てきます。デザインを学ぶ

### 生にどのような効果がありましたか？

学生はとてものびのびしていますね。多彩な学科や講座があるように、いろいろなつながりを感じることもできる大学で、広さと伸びやかさがあります。チャレンジが自由に出来る大学なので、学生はこの環境でクリエイティブになっていると思います。これだけ自然と触れ合える環境で暮らすことができる、情緒豊かな環境ですから、物事を整えていける能力が養われるのではないかと期待しています。大学生活4〜6年の学びの生活で、自然や人やもの、社会の関係が、はっきり理解できる鋭い洞察力をもった人間になってほしいですね。

### 地域の中における県大のポジション・姿はどのように考えていますか？

滋賀県が「環境こだわり県」と言われることもあり、県大では環境関連の研究をしていることが特に知られています。また、近江楽座や近江環人などに代表される地域に根差した活動もさかんであり、各学部が地域とつながっている大学と認識され始めています。気軽に門をたたける大学として、地域とつながっていくことが県大の役割だと思います。

### 松岡先生のデザインに関する教育で心がけていることや伝えたいことは何ですか？

環境問題は人や物の関係性が切断されていることに起因しています。建築の設計をする時でも、形ではなく様々な条件が先にあり、条件を積み重ねていって最終的に形が出てきます。デザインを学ぶ

### 者はずり形を先に出したがりますが、形にはそこに至る理由があります。人と物、自然、社会の関係性に不具合があるところを問題提起して、良い関係にさせていくことがデザインです。デザインで様々な問題を解決することも可能だと思います。それがデザインマインドです。学生がそれを理解してくれているなら、社会に出た時に人と手をつなぎ合っていくことができると思います。人が何に困っているか感知できるようなデザイナーになって欲しいです。

### これから大学はどのように変化していくと思いますか？

敷地は限られていますが、建物は大学に住む生き物だと思います。常に変化していきます。年もとります。今、キャンパス内には残っている空き地が少なくなっています。ゲストハウスや研究所など、必要なものが求められています。学生が自分たちで大学を創っていく活動拠点も今以上に造りたいですね。植樹の活動も様々なところで見られるので、もっと緑が豊かになって緑の中のキャンパスというように変身していきたい、みんなで育てた大学に変わっていくと思います。

### 県大はより環境に溶け込んだ大学になっていくのでしょうか？

環濠の橋を渡る時が一番好きです。橋がそれぞれスポットになっていきますね。橋を渡る時、立ち止まって風が吹き抜けると気持ちがいいです。講義に向かう時は身が引き締まり、研究室に帰る時はホッとします。また、センター広場の斜面から荒神山への広がりが見える所も気に入っています。

### 最後に読者に向けて一言お願いします。

学生時代の思い出をキャンパスにしっかり刻んで下さい。様々なシーンが自分の手によってつづけます。いつか戻って来た時にその思い出が懐かしくなるような環境を維持していきますので、お互い大学を大事に場所に使って下さい。



松岡拓公雄  
・プロフェッサー・アーキテクト  
・1978年東京芸術大学大学院芸術学修士、1978年丹下健三都市建築設計研究所、1986年アーキテクトファイブ設立を経て1999年本学環境科学部助教授に就任。2003年より同学部教授。2006年アーキテクトシップLLC設立。  
・専門は環境建築計画、環境建築デザイン。

# キャンパスマップ

滋賀県立大学のキャンパスはマスター・アーキテクト方式を採用し、ゆるやかな統一をコンセプトに環濠集落をイメージして造られました。そのため、大学内の各ブロックはそれぞれが特徴ある雰囲気を出し、様々な表情を見せてくれています。ここでは、A~Dブロックの持つ特徴、イメージを紹介します。

### Bブロック



▲環境科学部棟



▲各棟をつなぐ一本の廊下

環境科学部棟は「一本の道」をテーマにデザインされています。日本で最初に環境科学部を設置した滋賀県立大学として、環境科学部棟が一番環境について考えた建物でないといけません。そんな思いから1つの建物を分節化し、そこにひだを作ることで空気に触れる部分を増やし、空気、光、自然の力を活かして快適な生活が送れるような構造にしています。各棟はバラバラに配置されていますが、それが一本の廊下でつながっています。階段なども各棟から引き離してつくっているため移動には少し手間取りますが、常に廊下を通過することになり、ふたつを思いつくことができる空間です。

### Aブロック



▲えんびつ塔と図書情報センター



▲環濠からセンター広場を望む

センターゾーンは環濠に囲まれた大学の中心部です。センター広場を囲むようにえんびつ塔と講義棟が配置され、広場に立つとヨーロッパの広場をイメージさせます。デザインは、勾配屋根に八幡瓦、周囲と調和したアースカラーの配色を基調としています。センター広場の地下は食堂になっていて、造園と建築が一体となった屋上緑化を取り入れています。また、センター広場から望む荒神山を借景とし、大学の各棟は荒神山に軸線を置いた配置となっています。

### Cブロック



▲人間文化学部棟

人間文化学部棟に入ると、「近江の集落」の生活感を感じます。大学全体のアースカラーとは違う白壁の蔵をイメージした実験棟、住宅を大きくしたような演習棟、八幡瓦を装飾した中庭など、近江の文化を考える人間文化学部らしさが随所に見取れます。人間看護学部棟は平成16年に建てられた新しい建物です。荒神山側に開け、反対側を流れる犬上川と平行に建てられています。ランドスケープデザインとしてモクレンなど白い花の木を集め、白衣のイメージを出しています。交流センターは、隣接する人間文化学部と調和するように配慮したデザインとなっています。中庭にある琵琶湖固有の「田舟」はそんな発想から展示されています。

### Dブロック



▲電子システム工学科棟 (イメージ)

工学部棟に来ると、打ちっ放しのコンクリートとガラスというメカニカルなイメージが前面に出てきます。各棟は中庭をまたぐ通路でつながっていますが、この芝生の中庭、実はケンブリッジやオックスフォードといった外国の大学に多く見られる創造的な活動を行う空間としての中庭を意図して造られたものです。平成21年度に電子システム工学科棟ができることで工学部の建物は完結します。体育館はアリーナを包み込むように、風を大きくはらんだ帆のような形となっています。見方によっては宇宙船のように見えるかもしれません。外壁がガラスのため、内部と外部が重なりあう、連続的なシーンを見せてくれる空間です。





# 県大 jiman

## おすすめツアー

県大のすてきなスポットを紹介する「県大jimanおすすめツアー！」県大生でも意外と知らない!?思わず訪れたいくなるスポットへGO! まずはバス停からえんびつ塔に向かってスタートしましょう!



**START!!**

知らない人も意外と多い!? 小琵琶湖。小さくなったエンピツ塔を背にまるで湖畔にいたい!? 夏には睡蓮が咲き乱れ、幻想的な空間になるとっておきスポットなので是非行ってみて!



センター広場は学生の憩いの場! ここから荒神山を一望できます。夜は寝転がって満天の星空を見るのも最高です。広場で語り合うのもよし、バドミントンもよし、県大ならではのキャンパスライフが味わえます!



琵琶湖から引きこんだ水が流れる環濠ではいつでもアヒルやカモ達と戯れることができます! 暖かい日には環濠の傍でランチタイム♪アヒル達にお弁当を取られることもあるのでご注意を!



環境科学部の圃場へやってきました! 広々とした田畑には無農薬野菜や実験用のお米がいっぱい! 大学の中で農家気分を味わえるかも★

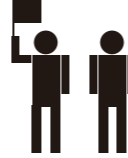


県大自慢の図書情報センターでは、外の景色を眺めながら読書ができるんです! 1Fには水のせせらぎを聴きながら過ごせるスペースもあります。あまりの気持ち良さうたた寝してしまうことも...!?



**GOAL!!**

ゴールは大学内の喫茶店「ピアノシモ」! 笑顔が絶えないお気に入りの場所でほっと一息。裏メニューの「ウインナーコーヒー」を注文★さあ! みんなも「県大jimanおすすめツアー」に出かけよう!



### 県大で建築を学んだOBに聞きました!

山田さんは、滋賀県立大学の1期生の卒業生です。大学院在籍中にノルウェーに留学し、帰国後日本にノルウェーに就職。就職後、縁あってノルウェーの建築事務所に入社し、現在ノルウェーに在住しています。今回、夏休みを利用して県大を訪ねられた山田さんを利用学生広報スタッフがインタビューしました。

当時、滋賀県立大学は新設大学でした。あえて新設の県大に入学した志望動機を教えてください。

もともと併願で受験したのですが、受験に来て彦根の街並みが気に入りました。入学を決意しました。学生生活はどうでしたか?

先輩がいなくて何をしていたかわからず、2年生くらいまでは高校の延長のような気分です。学生生活を送りました。卒業設計では、お月見のための研修施設を設計しました。大学院では進学後2年間休学し、建築の勉強のためノルウェーに留学しました。

なぜノルウェーを選んだのですか?

日本を一度外から見てみたいという思いがあり、また、積雪寒冷地の建築を研究していたので、寒さの厳しい雪国へと目が向きました。ノルウェーには美しい自然環境で生活してきた長い歴史があり、森林で味わいのある建築文化が息づいていることに魅力を感じました。

ノルウェーではどんな勉強をされましたか?

2年間ひたすら設計演習をやりました。課題は小学校や住宅などの設計です。ひとつの演習で約5回のプレゼンテーションがあり、その密度が濃く、ノルウェー語でのプレゼンテーションはとても苦労しましたが、プレゼンテーションや議論などの経験は社会に出てからとても役立っています。



山田 和彦さん (2003年3月環境科学研究科環境計画学専攻修了)

大学院修了後はどうされていますか?

ノルウェーで働くことは夢や目標ではなく、あくまでひとつの通過点です。独立して自分の事務所を開くことが一番近い目標です。久しぶりの県大に帰られて、今の大学はどのように映りましたか?

卒業の中間発表を聞いて、自分たちの時よりもチームが専門的になっていてと感じました。在学生に向けて一言お願いします。

田舎の大学の1期生ということ、大都市の学生にはかなわないという意識がいつもありました。が、実際に社会へ出てみるとそんなことはありませんでした。都会の学生と比べて手に入る情報が少なかったり、自分たちで考えたり見つけたりの力が身に付いたと思います。本当にいい環境で学べた社会に出てから実感しています。この大学でしか学べないことがたくさんあると思います。



穴太衆積

県大の環濠の石積みには、自然の石をそのまま生かして大小の石を随所に配した穴太衆積という工法が使われています。穴太衆とは、比叡山の発展のもと石垣の構築に従事していた石工集団です。戦国の世には、城郭の石垣にこの工法が多く使われました。石積のどこかにある解説プレートを見つけてみよう!



八幡瓦

キャンパスの屋根に使われている瓦は、近江八幡の地場産業で知られる八幡瓦です。近江八幡周辺では原料となる粘土が採掘でき、八幡堀の舟運も利用できることから八幡堀に面して多くの工場が建てられ、産業として発展しました。八幡瓦の特徴は耐寒性が強いことで、彦根の厳しい冬に適した瓦と言えるでしょう。



人間文化学部食生活実験棟

県大で唯一の白い建物である人間文化学部D5棟(食生活実験棟)は、白漆喰で土蔵風に仕上げられています。大屋根の上に設けられた越屋根、妻の破風にある懸魚など近江の景観が集約されています。懸魚とは寺社仏閣の屋根に取り付けた妻飾りのことです。懸魚には様々な意匠がありますが、ここでは書いて字のごとく魚の形をしています。



小琵琶湖

南駐車場近くには、琵琶湖を形取った通称「小琵琶湖」という池があります。環濠の水が流れ込み、キャンパス西側の農業用水路に放流され、琵琶湖に流れていきます。いつかここに、小琵琶湖大橋を架ける計画があるのか!?



田舟

交流センターの中庭には、琵琶湖や内湖などで使用されていた田舟が置かれています。現在では見られなくなりましたが、湖南から湖東にかけての集落では、干拓や圃場整備が進んだ1980年代頃まで、田舟を使って荷物を運んだり、移動したりする姿を見ることができたそうです。

### 県大「近江」八景

近江八景は、かつて中国から伝わった「瀟湘八景」になぞらえたもので、滋賀県南部でとくに景色がよいとされる「石山の秋月」「瀬田の夕照」「粟津の晴嵐」「矢橋の帰帆」「三井の晩鐘」「唐崎の夜雨」「堅田の落雁」「比良の暮雪」の八景が選定されています。



滋賀県立大学は環濠集落をイメージしたキャンパスですが、その中には様々な「近江」の要素が取り入れられています。ここではそんな県大のキャンパス内に見られる「近江らしさ」を八景として紹介します。

### 荒神山

センター広場に立つと、正面に広がる荒神山。県大のキャンパスは、荒神山を軸線として設計されています。荒神山は、奈良時代に行基が奥山寺を開山し、三宝大荒神の祀ったことから荒神山と呼ばれるようになったといわれています。夕陽に輝く荒神山はとてもきれいですよ。



### 県大「近江」八景最後の一つは探索中です。

あなた自身で見つけて、ぜひ八景を完成させてください。



環濠

かつて琵琶湖の周辺には、水路に囲まれた集落が多く見られました。そうした集落をイメージしてキャンパスにめぐらされた環濠には、琵琶湖から引き込まれた水が流れています。日中は図書情報センター前の落水部から給水されています。



便利グッズ編

学生生活を過ごす上で毎日お世話になるのが大学生協です。大学生協のショップではお弁当、雑誌、文房具など学生が大学生活を過ごす上で役立つ商品を選んで販売しています。その中から県大jiman推薦の便利グッズを紹介します。

県大生協一押し!!

パンチつきW綴じファイル

「授業で配られるプリントが多くて整理ができない。」「ルーズリーフはそのまま綴じられるけど、プリントは穴空けないといけないから面倒だよな。」そんなみなさんの悩みを解消するかもしれない商品が10月から生協ショップで販売されています。

それは「パンチつきW綴じファイル」です。このファイルのすごいところは、プリントを綴じるところが2箇所あること、ファイルにパンチが付いていることです。もらったプリントをその場でパンチしてファイルに綴じることができるし、ルーズリーフとプリントを分けて綴じることができる優れものです。これを使えば、プリントの整理は楽勝かも?

このファイルは、県大のグリーンコンシューマーサークルがココヨマーケティング(株)に開発を打診し、企画検討、モニターアンケート調査の実施・分析など1年半あまりの時間をかけて共同開発したファイルです。

現在、滋賀・京都・奈良の大学生協ショップで販売されており、なんと滋賀県立大学の販売数がトップということです。

県大生は便利グッズのチェックが鋭いのもかもしれませんね(^^)

▲パンチつきW綴じファイルを開発したグリーンコンシューマーサークルの齋藤さん



お昼にバスに乗るときは とってもお得♪ あおぞら回数券

あおぞら回数券は10時から16時の間に使えるお得な湖国バスの回数券です。2,000円で2,800円分の回数券が購入できます。通常のバス回数券は2,300円分なので、なんと500円もお得です!

時間制限はあるけれど、青空の日はもちろん雨の日にも持っているとお助かるこの1冊!! 生協の窓口で買うことができるのでバスに乗る機会がある人は一度試してみても!



▲あおぞら回数券(左)と通常の回数券

データを持ち歩くにはこれ!!

USBフラッシュメモリ

大学で勉強を始めると、たくさんのデータや画像を持ち運ぶことが多くなりますよね?

そんなときに便利なのがUSBフラッシュメモリです。昨年の春から生協ショップで販売が始まり、瞬く間に200個が売れるヒット商品になり、今では県大生の必需品になりました。USBフラッシュメモリはパソコンのUSB端子に差し込むだけで簡単に情報を出し入れでき、データ管理もしやすくなる便利グッズです!!

春頃に生協ショップで特売が予定されているそうなので買いたい人は要チェック!



番外編

携帯音楽プレーヤーは単に音楽を聴くだけじゃない!!  
ワードや画像など音楽ファイル以外のさまざまなデータも持ち運べるから、実はUSBフラッシュメモリのように使うこともできるよ(^^)



携帯電話活用編

皆さんは「滋賀県立大学インフォメーションサービス」をご存知ですか?それは、学生用情報掲示板のことです。掲示板を見にわざわざ大学に行かなくても、家や外出先からパソコンや携帯電話があれば、県立大学の情報がその場で得られるとっても便利なシステムです。アクセス方法はwebブラウザと携帯電話からの2つです。

・webブラウザから→<http://info.office.usp.ac.jp/>  
・携帯電話から→<http://info.office.usp.ac.jp/>に接続します。

(■は、お使いの携帯会社によって異なります。DoCoMoはi、auはe、Softbankはj)

まず、接続したら「学生情報」をクリック。ユーザーID(学籍番号)とパスワードを入力します。初期パスワードは「学籍番号7ケタ」となっているので、初めての方は「学籍番号7ケタ」を入力してから、パスワード変更で自分のパスワードを設定して下さい。掲示されている情報は、休講案内・補講案内・教室変更・学生呼び出し・お知らせ等々。このサービスを使って、快適な県大ライフを送って下さいね☆



BENRIEEEEEE!!



県大便利帳

みなさんは大学生活を楽しく送っていますか?高校生から大学生になると、授業時間が長くなったり、先生が黒板に板書してくれなかったり、たくさん課題があったり、バイトやサークルで忙しかったりと、高校生のときとは生活が大きく変わります。そこで県大jimanのスタッフがみなさんの悩みを解決すべく、大学生活を効率よく過ごす「コツ」をお教えしちゃいます。今回は、「ノートの作り方編」、「便利グッズ編」、「携帯電話活用編」の3つに分けて紹介します。

ノートの作り方編

皆さんは普段どのようにノートをとっていますか?高校時代は先生が黒板に板書をしてそれを書き写すだけでしたが、大学では先生のしゃべったことを聞いて、自分でノートを作らないといけません。ノートをうまく作れないと、復習もできないし、試験でも大変です。そこで皆さんの参考になるような各学部の選りすぐりのノートを紹介しましょう!

人間文化学部生活文化学科食生活専攻 4回生 田村真梨子さん

ノートは見返したときに見やすいように、先生が授業で言ったことを自分なりに要約して書き込んでいます。

また、教科書を見直すことで自分なりに理解できたところや問題意識を持ったところを書き込むようにして、テストや臨床の場面、実習などに臨めるようにしています。

図と文章を織り交ぜて視覚的にもばっと見やすいノートを作ることで自分なりの理解も深まりますね。

ノートのとり方のコツとしては先生が何気なく言ったことも逃さず書くこと。実は大切な要素だったりもするのでメモ書き程度でも書き込んでおく自分のためになります。



環境科学部環境計画学科 環境・建築デザイン専攻

2回生 田口真太郎さん

使っているノートがスケッチブックなのは、1冊でスケッチや文章など全てが書けるので便利だからです。ルーズリーフだと1枚1枚がバラバラでなくしやすいけど、スケッチブックだとなくさないで使っています。また、先生がよくパソコンや映像を使って授業をするので、それらに出てきた建築物などもスケッチするときにとっても便利で役立っています。

先生はほとんど板書しないけれど、喋っている内容で「重要な」と思ったところは必ず書いています。

大学の授業は主体的に学ばないとついていけません。



工学部材料科学科 2回生 矢野克弥さん

使っているノートはルーズリーフです。軽いし、後でいろいろとまとめやすいからです。

グラフなどを結構書くので、色をしっかりと分けて、どの線がどれかをわかるように心がけています。また、授業中に参考文献などの本のページ数を書き込んで、あとで参考に出来るようにしています。

あとは横に備考欄を設けて、「大切な」というものを書いたり、式を大きく書くのも大切です。あとで先生が「ここにこれを足したらこうなるんです」と書き足したときに困らないようにするためです。



人間文化学部地域文化学科 1回生

真嶋彩乃さん 山田千瑛さん

授業中、先生が話していて、自分が重要だと思ったことは、片っ端から書くようにしています。

ノートのとり方は、あとで見直したときに自分で分かりやすいように、重要なところをチェックしておくと思います。(真嶋さん)

先生が言うことをすべて書くのは無理なので、授業に集中して要点をまとめて書くように心がけています。単語や用語は別の紙に書いておいて、あとでまとめると分かりやすいと思います。自分で分かりやすいノートというのがいいと思います。(山田さん)

※ノートは山田さんのものです





## After School Report

大学の枠を飛び越えて音楽活動展開中！

滋賀県立大学にはアコースティックサウンドクラブ、軽音楽部、Big×Band部という3つの音楽サークルがあり、滋賀県立大学音楽会を構成しています。今回は大学内外で積極的に活動しているこれらのサークルと、県大音楽会出身で活躍中のバンドLOVELOVELOVEを一挙に紹介します。

### アコースティックサウンドクラブ

「アコ部」の通称で知られ、部員数なんと88人の県立大学一の大所帯クラブ。ギター、ベース、ドラム、アコースティックギター、アコースティックピアノを中心に活動を行っているのが特徴です。好きな時間に体育館裏の部屋に集まって練習しています。音楽好きなら経験を問わず歓迎してくれるので、興味のある人は一度足を運んでみては？  
URL : <http://acobu.net/>



### Big × Band 部

サクソ、トロンボーンなどホーンセクションの入った1バンド12人前後の大人気で活動するのがBig×Band部です。扱う音楽は東京スカパラダイスオーケストラをイメージしてもらえれば分かりやすいとか。現在の部員総数は35人で、県内の学園祭や地域のお祭りなど学外でも積極的にライブ活動をしています。  
URL : <http://s-ryo-web.hp.infoseek.co.jp/>



### 軽音楽部

バンド中心の弾き語りなど、ジャンルにとらわれない自由な音楽活動を行っているのが軽音楽部です。部員数は38名で普段はバンド毎に部室で練習し、年に5～6回、部全体のライブを自分達で企画する行動派です。大学から始めた初心者から、ライブハウスなど部活以外の場で積極的に活動しているバンドまでメンバーは様々。アコ部やBig×Band部、他大学サークルとの交流も盛んです。  
URL : <http://uspkeion.web.fc2.com/keitai.htm> (携帯)  
<http://uspkeion.web.fc2.com/index.htm> (PC)

### 音楽会出身のバンド LOVELOVELOVE

LOVELOVELOVEは、本学卒業生の寺井孝太さん(生物資源管理学科卒)、浦山恭介さん(環境計画学科卒)、澤本康平さん(材料科学科卒)の3人が音楽会在籍中の2003年に結成した3ピースバンド。卒業後も関西を中心に活動を続け、2007年6月にはミニアルバム"HIGH COLOR BLUE"を、同年12月にはスプリットアルバム"ビター&スウィーツ"を発表するなど、今後の活躍が期待できるバンドです。今でも湖風祭のライブに登場し、音楽会の活躍を見守る先輩思いのLOVELOVELOVEから、メッセージを頂きました。



- 寺井孝太さん 大学では勉強はもとより、サークルやクラブ活動、他大学との交流を通して、たくさんのお会いや経験をして欲しいです。その中に、人生を決めていくヒントがあると思います。
- 浦山恭介さん 県大はとても自由な空間です。だから本当に自分のしたい事を見つけれられる場所だと思います。みなさんも県大で何かをつかんで下さい。きっと見つかると思いますよ。
- 澤本康平さん 勉強がんばってください。そして、出会いを大切に！  
URL : <http://love3.jp/>

## Kendai Book Review

### 「就職ジャーナル」(株リクルート)

就活応援の定番雑誌です。毎号その時期に知りたい情報が網羅されており、業界や企業の情報から面接、エントリーシート、ノウハウまで幅広くカバーされている就活の強い味方です。就活に使える以外にも、世間で注目を集めているトレンド企業の紹介もされているのでいろいろな会社を知るのにも役立ちます。就活時期によく悩む手紙の書き方や、基本的なマナーも毎号掲載されているかゆい所に手が届く1冊です。



### 「新聞ダイジェスト」

(新聞ダイジェスト社)

筆記試験に役立つ1ヶ月のニュースがコンパクトにまとまっています。じっくり読み込むと社会のことが良く分かります。特に、マスコミ関係の仕事に就きたい人には必須本です。この本であなたも社会人の一歩を踏み出す準備をしてみてください。



彦根ではまだまだ寒いこの季節、もうすぐ4回生になる県大生は就職活動(就活)に燃えている！今回はそんな就活生をサポートする本をご紹介します。就活時期だけでなく、学生生活や社会人になってからも大切な情報源となる雑誌を図書情報センターで見つけました！この時期こそ図書情報センターを有効活用しちゃいましょう！

### 「朝日新聞ウィークリー AERA」(朝日新聞社)

AERAとはラテン語で「時代」という意味です。本格的なニュース週刊誌としての歴史は古く、内容にも定評があります。「新聞を読む暇がない！」という忙しい就活生のためにも役立つ雑誌です。代表的な連載「現代の肖像」では、時代の注目させる人物のインタビューがあり、時代の流れを様々な角度から読み取ることができます。もちろん、週刊誌だけでなく、新聞やTVニュースをチェックするのもお忘れなく！



## Labo Report

### 人間看護学部人間看護学科・伊丹君和研究室

### その人らしく「生き生き」と！

今回は人間看護学部基礎看護学の伊丹君和講師の研究室にお邪魔しました。伊丹先生は主にボディメカニクスに基づく腰痛予防のための動作解析の研究を工学部のメカトロニクス分野とともに行っています。また、腰痛予防体操の指導を地域の集会所で開催するなど地域の方々の健康増進にむけた活動にも取り組んでいます。

そういった地域での活動を広めるため、先生は人間看護学部の学生たちとともに、「未来看護塾」の活動を行っています。「未来看護塾」とは地域住民や医療現場で働く方々とボランティア活動を通じて交流し、人が人として生きてゆく「未来の看護のあり方」を地域の方々や看護職の方々とともに志向し考えていく近江楽座のプロジェクトチームです。

現在の「未来看護塾」では、定期的な活動として

- ・NPO法人ばばハウスでの親子や高齢者の方々との交流
- ・彦根市立病院小児科病棟・緩和ケア病棟でのボランティア活動
- 生き生き健康支援活動として
- ・湖風祭(学園祭)での子ども広場
- ・彦根市立病院でのクリスマス会
- ・地域の老人会などでの健康教室や癒し目的の「足湯」などを展開しています。

伊丹先生は「活動を通して私自身も学ばせてもらったり、楽しませてもらっている。学生たちも活動によってコミュニケーション力、企画力、看護力が身につくと実感している。たくさんの方にこのような活動に参加してほしいし、活動に協力していただける地域の皆さんに少しでも元気になっていただきたい。そして、自分達も元気をたくさんもらっているから、これからも活動を続けていきたい。」と今後の未来看護塾の活動について抱負を話されました。

「看護の対象はすべての人々」という先生。「すべての人々がその人らしくよりよく健やかに過せ、「生き生き」とした生活を送るにはどのような看護サービスが提供できるかを考えていくことが大事。」と最後に締めくくりました。



### 伊丹研究室 DATA

E-mail:k-itami@nurse.usp.ac.jp

研究室 : E 2-207

ゼミ生 : 高山愛未、伊達優美子、西村和絏、山本ひかる

ゼミ生から一言 : 一言では言い表せない。おばちゃんみたいな先生だと思っていたが、優しくきびしい愛ある指導でお母さんのような先生だった。先生みたいな働く女性になりたい。見たまんま良い先生。

◀城・城下町・町家



多民族・滋賀  
—「在日外国人」から滋賀をみる▶

班	テーマ
地域文化学科	伊吹山を巡る生活と信仰
	城・城下町・町家
	多民族・滋賀—「在日外国人」から滋賀をみる
	湖・山・道 暮らしの流通— 比叡山をめぐる文化
生活文化学科	近江の伝統とものづくり
	琵琶湖：港の歴史・島の文化
	近江伝統の食と文化を訪ねて
	滋賀の銭湯
人間関係専攻	彦根の若者の就労
	滋賀の障害者福祉
	長浜の文化・歴史 琵琶湖の水環境

## Class Report

### 人間文化の全てを自分の目で

### 環琵琶湖文化論実習

担当教員：人間文化学部教員

環琵琶湖文化論実習は、人間文化学部1年次の必修科目で、地域の生活に根ざした文化を理解する姿勢を学びます。またフィールドワークの導入でもあり、1年次の目玉の授業といえます。それぞれが興味をもったテーマに分かれて、滋賀県各地で実習を行います。

この授業は、普段の教室での講義とちがいで、実際に地域に出かけて、自分の目で見て学ぶことが一番の特徴です。前期に行われた人間探求学という授業の後半から、環琵琶湖文化論実習に向けての事前学習を始めます。事前学習でレポートを作成し、後期に2泊3日の実習を行います。実習後は、事前・事後学習も含めた調査結果を報告書にまとめ、地域の施設や国会図書館に送っています。

県内出身の学生は「滋賀県出身だが、知らない歴史がたくさんあった。」、県外出身の学生は「今回の授業で、自分の出身県についてあまり知らないことに気づいた。両方とも学ぶことで滋賀との違いや繋がりが見えてきて、より深く滋賀のことを知ることができるのでは。」と話していました。

普段と違う授業を体験した県大生は、滋賀の魅力を発見・再発見したのではないのでしょうか。

「多民族・滋賀—「在日外国人」から滋賀をみる」というテーマで実習を行った地域文化学科の留学生 風雲さん(中国・内モンゴル自治区出身)は、実習について、「在日外国人は日本で少数民族として生活し、様々な差別を受けながら、自民族文化を持ち続けていることを学びました。私は中国の少数民族として、中国の発展に従いながらも自民族文化を保っていきたくて思った。」と話していました。



# Topics & Information

## TOPICS 01

### 滋賀県立大学の校歌歌詞が決定しました

平成18年度、滋賀県立大学が公立大学法人化したのを機に、本学のアイデンティティ構築について検討する「U-1（ユニバーシティ・アイデンティティ）プロジェクト」を設置し、このプロジェクトが校歌制定などの提言を平成19年3月にとりまとめました。また、後援会の理事会や同窓会からも校歌制定について要望が出ていることから、大学として、学生やOBに歌い継がれる校歌を制定することとし、校歌制定委員会で準備を進めてきました。

作曲については、世界的な作曲家で指揮者でもある東京音楽大学客員教授の細川俊夫氏に引き受けていただきました。また、歌詞については、広く全国公募したところ、31都道府県から156作品の応募がありました。本学の学生・教職員からも16作品の応募があり、審査の結果、本学人間文化学部の梅原賢一郎教授の作品が最優秀作品に選定され、校歌歌詞として採用されることとなりました。

来年3月には校歌が完成し、4月の入学式で披露される予定です。

一、點撥ねる  
清らかな川の 水面には  
在りし面影 映し見る  
学舎の 若き血潮は  
滾れども  
清けき潮 希う  
時きたり 時めぐり  
生命の流れ  
永久に祈らん



▲作曲者の細川氏(右)と曾我理事長

## TOPICS 02

### 8人の近江環人が誕生!

「近江環人地域再生学座」は、滋賀県の地域再生を担う人材を育成する大学院の教育プログラムです。平成18年度の文部科学省新規プロジェクト「地域再生人材創出拠点の形成」に採択され、「近江環人地域再生学座」を開設しました。このコースで所定のカリキュラムを修了、検定試験に合格することで「コミュニケーション・アーキテクト(近江環人)」の称号が付与されます。

「コミュニケーション・アーキテクト(近江環人)」とは、行政・企業・NPOなどの立場を生かしながら、地域再生のための事業や活動を企画、実践するリーダー、コーディネーターとしての役割を担うための知識と技術を習得した人材です。

今回、初の近江環人の称号を付与されたのは、社会人7名、大学院生1名の計8名です。本学の近江環人地域再生学座での取り組みを活かし、今後の近江環人としての活躍を大いに期待したいと思います。



▲近江環人地域再生学座称号授与式

## TOPICS 03

### 産官学連携でリサイクルプランターを開発・商品化!

滋賀県立大学近江産座の採択プロジェクトチームである「廃棄物バスターズ」が、プラスチック廃棄物95%以上でできた「リサイクルプランター」の商品化に成功し、県内のアヤハディオにおいて販売しています。

「廃棄物バスターズ」では、一般家庭や産業廃棄物として不要となったポリエチレンやポリプロピレンを調合したリサイクルペレットを利用し、汎用商品への応用、更には環境負荷の低減、資源の有効利用を目的とした研究をしています。本来複合化は非常に困難であるといわれているポリエチレンとポリプロピレンを相溶化させるための技術開発を行い、滋賀県東北部工業技術センター(長浜市)、西産業株式会社(甲賀市)と商品化の検討を進めてきました。

従来の技術ではリサイクル原料の加工上の問題点から大型のプランターの製造は困難でしたが、種々の添加剤の配合比を調整することにより、今回「ハンディタイプ550長色」の内容積約25Lもの大型プランターの製造に成功しました。

今後はリサイクルプランターの品質改良はもちろんのこと、リサイクル製品の普及活動にも積極的に力を入れていきたいと考えています。



▲リサイクルプランターを紹介する「廃棄物バスターズ」の長江さんと徳満准教授

## TOPICS 04



▲インカレ優勝旗を手にした北出さん

### 人間看護学部の北出真由さんがウインドサーフィン全国大会で大活躍!

人間看護学部4回生の北出真由さんが秋田わか杉国体セーリング女子ウインドサーフィン級で2位、全日本学生ボードセーリング選手権(インカレ)女子個人の部で優勝という快挙を成し遂げました。9月29日〜10月2日の間、秋田県男鹿市の船川港特設セーリング競技場で開催された秋田わか杉国体には29名の参加があり、3日間で4レースが行われました。北出さんは4レースとも6位以内に入る安定した走りを見せ、見事2位になりました。

また、11月11日〜11月15日の間、沖縄県国頭郡字奥間海岸沖で開催されたインカレには40名が参加し、3日間で9レースが行われました。北出さんは9レース中、3位以内を5回と圧倒的な強さを見せ、見事優勝しました。

北出さんは「昨年はインカレと看護実習が重なってしまい、泣く泣く出場をあきらめました。その悔しさをバネにして、最終学年の今年は優勝を目標に練習を積み重ねました。その結果が、優勝につながったことは今後の自分にとって、とても貴重な経験になりました。」と力強く語ってくれました。

## Information

### 受賞・表彰

- ・環境科学部 高柳英明准教授  
2007年 社団法人都市住宅学会業績賞
- ・環境科学部 増田佳昭教授  
平成19年度J A研究賞
- ・工学部4回生 浅生悟司さん  
京滋大学野球秋季リーグ戦(1部) 最優秀投手賞
- ・工学研究科博士前期課程1回生 長江大志郎さん  
日本材料学会関西支部 若手シンポジウム関西支部長賞 (優秀ホスター賞)
- ・工学研究科博士前期課程2回生 増田貴行さん  
「日本機械学会(Dynamics and Design Conference 2006)」フェロー賞(若手優秀講演)
- ・人間文化学部4回生 中舎萌さん、杉本真美さん  
「WORLD Space Creators Awards 2007」学生部門優秀賞
- ・人間文化学部 福井富穂准教授  
厚生労働大臣表彰
- ・人間文化学部 廣瀬潤子助教  
第22回日本母乳哺育学会 学術集会奨励賞
- ・人間看護学部 石田英實教授  
日本人類学会功労賞
- ・人間看護学部4回生 北出真由さん  
秋田わか杉国体セーリング 成年女子  
ウインドサーフィン級2位  
全日本学生  
ボードセーリング選手権 (インカレ) 女子個人の部優勝
- ・人間看護学部 地域交流看護実践研究センター 佐川がん研究助成振興財団 特別研究助成賞

### 人事異動

- | 着任  | 退任   | 昇任   |
|---|--|--|
| 菅原 透<br>工学部<br>ガラス工学研究センター<br>助教 博士(理学)<br>専門分野: ガラス科学、マグマ学 | 平河 勝美<br>人間看護学部<br>人間看護学<br>教授 博士(学術)<br>専門分野: 基礎看護学、看護教育学 | 環境科学部環境生態学<br>准教授 丸尾 雅啓<br>環境科学部環境計画学<br>准教授 高橋 卓也<br>環境社会計画専攻<br>准教授 高松 徹<br>環境科学部生物資源管理<br>准教授 岩間 憲治<br>工学部機械システム工学<br>教授 高松 徹<br>工学部機械システム工学<br>助教 高松 徹 |
| 事務局長 高谷 美穂  |  | 事務局教務グループ 主任 茶谷 忠宏<br>事務局教務グループ 主任 高谷 美穂   |

### 湖風祭レポート!

今年の湖風祭は11月9日〜11日に行われました。湖風祭の時期って雨の天気が多いらしいけど、今年は少しの雨です。なのでほとんどの企画が実施できたみたいです。

私は3日間とも大学に来て、湖風祭のすみからすみまで見て回りました!今年の湖風祭のテーマは「訪れる人全員笑顔と充足感を創造する」でした。模擬店、ステージ企画、フリーマーケット、環境村などにたくさんのお客さんが来られてすごく賑やかな雰囲気だったので、個人的には大成功だと思いました。

3日間の企画で私が一番印象に残ったのは、「ただの♡LADY FIGHT」でした。これは男性の女装コンテストなのですが、登場する男性がみんなきれいでびっくりしました。特に脚の線がきれいで「負けてられないぞー」と思ったくらいです。

それから今回の湖風祭では初めて屋外ステージが3つ立てられ、その中の一つ「Liveステージ」では音楽会による「Heart Beat Live」が行われました。私はLiveに行くのが大好きなのですごく楽しかったです。バンドだけじゃなく演出するライトや音響もかっこよくてすごく感動しました。

実は私も湖風祭で室内企画を出しました。その関係で実行委員の人とも知り合いになりました。こんな大きな湖風祭を企画して、運営するってすごく大変なことだと思います。この感動を与えてくれた湖風祭実行委員の皆さんに感謝したいです。

